自治体ナッジ・ユニット実態調査結果報告書

■調査結果サマリー

●自治体ナッジ・ユニットの活動状況を明らかにするため、アンケート調査を実施。
●調査の結果、以下の４点が明らかとなった。
①自治体ナッジ・ユニットの主な活動は、「庁内からの相談支援」「庁内情報発信（ナッジ通信等）」「職員研修」「研究会、勉強会」であった。（Ｑ２参照）
②自治体ナッジ・ユニットは、首長からのコミットを受けて活動している団体が多い。（Ｑ３参照）
③活動予算をもたないチーム数が約半数存在する。（Ｑ４参照）
④１か月あたりの活動時間は「２～１０時間」が多い。（Ｑ６参照）

※本報告書内にて「自治体ナッジ・ユニット」とは、「ナッジ等の行動科学の知見を活用した政策介入を自ら実施する、もしくは行政組織内部における政策への行動科学の活用を支援するチーム」のことを指す。

■調査概要

［目　　的］
近年、自治体ナッジ・ユニットの設立数が増加し、ナッジの政策活用が盛んに行われている中、自治体ナッジ・ユニットの活動形態も多様化しているものと推察される。
本調査では、自治体ナッジ・ユニットに対してアンケートを実施し、自治体ナッジ・ユニットの組織形態や活動内容を明らかにすることを目的とする。

［調査対象］
令和６年４月１日時点で存在が確認されている２３自治体ナッジ・ユニット※
※横浜市、尼崎市、岡山県、つくば市、北海道、香川県、出水市、八幡浜市、大垣市、堺市、群馬県、宮城県、岡山市、塩尻市、小山市、福井県、墨田区、福井市、千葉市、松阪市、草加市、江津市、狛江市（設立順）

［調査方法］
Slack 又はメールにてアンケートを送付

［調査期間］
令和６年５月

［有効回答］
２３自治体のうち１７自治体から回答あり（回答率：７３．９%）

■回答結果

Q１．ナッジ・ユニットの設立時期

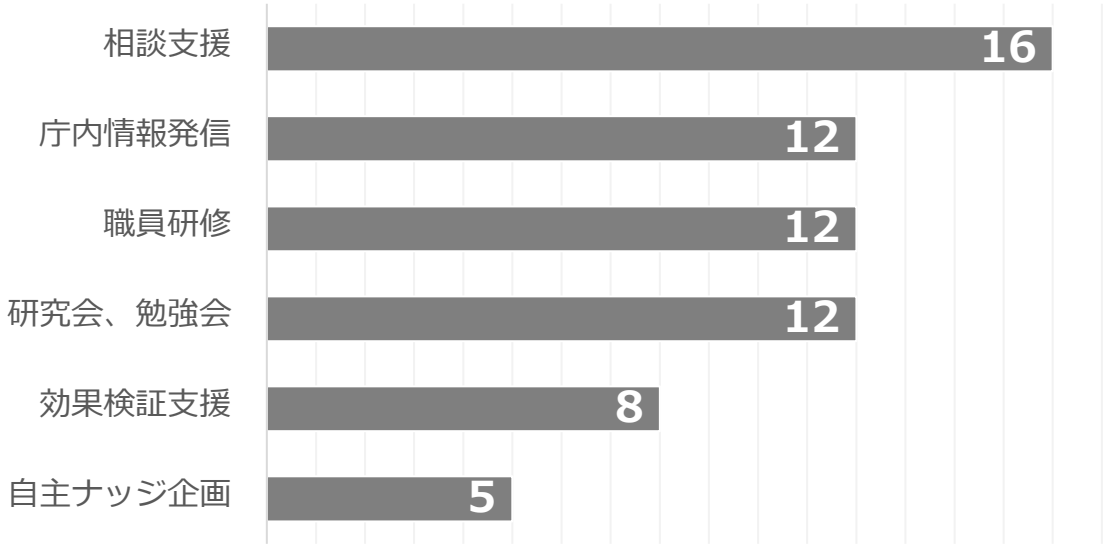
※本設問では、本アンケートのほか、自治体ナッジシェア「自治体ナッジ・ユニット図鑑」(2023.12)を併せて参照

日本初の自治体ナッジ・ユニットである横浜市行動デザインチーム（YBiT）が 2019 年２月に設立されて以降、ここ５年間で自治体ナッジ・ユニットの**設立数は急増**している。

設立年月		自治体名	チーム名
2019 年	２月	横浜市	横浜市行動デザインチーム（YBiT）
	10 月	尼崎市	尼崎版ナッジ・ユニット
	11 月	岡山県	岡山県版ナッジ・ユニット
	12 月	つくば市	つくばナッジ勉強会
2020 年	３月	北海道	北海道行動デザインチーム（HoBiT）
	７月	香川県	Kagawa Nudge & Innovation Team（KNIT）
2021 年	５月	出水市	出水市行動デザインチーム（IBiT）
	６月	八幡浜市	チームナッジやわたはま
	７月	大垣市	大垣市行動デザインチーム（ORBIT）
	８月	堺市	堺市環境行動デザインチーム SEEDs
2022 年	２月	群馬県	群馬県行動デザインチーム（GuBiT）
	６月	宮城県	宮城県行動デザインチーム（MyBiT）
	６月	岡山市	岡山市行動デザイン Studio
	９月	塩尻市	塩尻市ナッジ勉強会
	10 月	小山市	Oyama Research&Development（ORD）プロジェクト
	12 月	福井県	福井県行動デザインチーム（fuBit）
2023 年	３月	墨田区	墨田区行動インサイト研究会
	４月	福井市	福井市ナッジ・ユニット
	５月	千葉市	千葉市行動デザインチーム（C-BiT）
	５月	松阪市	松阪市版ナッジユニット
	９月	草加市	SBiT(Soka Behavioral insights and Design Team)
	10 月	江津市	Go▶Bit
2024 年	１月	狛江市	狛江市ナッジラボ

Q２．活動内容（n＝17）

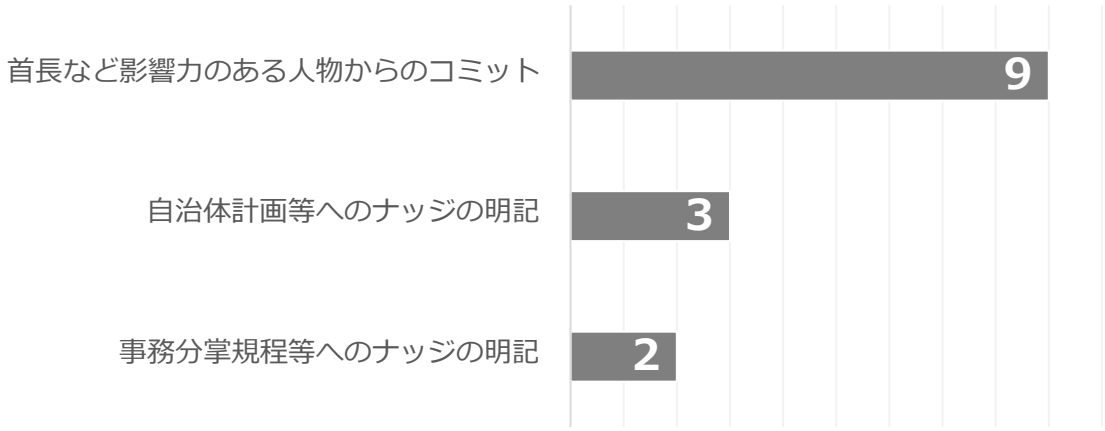
ほぼすべてのチームが庁内への「**相談支援**」を行っている（16 チーム/17 チーム）。
次いで、「**庁内情報発信**（ナッジ通信等）」、「**職員研修**」、「**研究会、勉強会**」を実施しているチームが多い（12 チーム/17 チーム）。



［単位：チーム数］

Q３．組織認知度（n＝17）

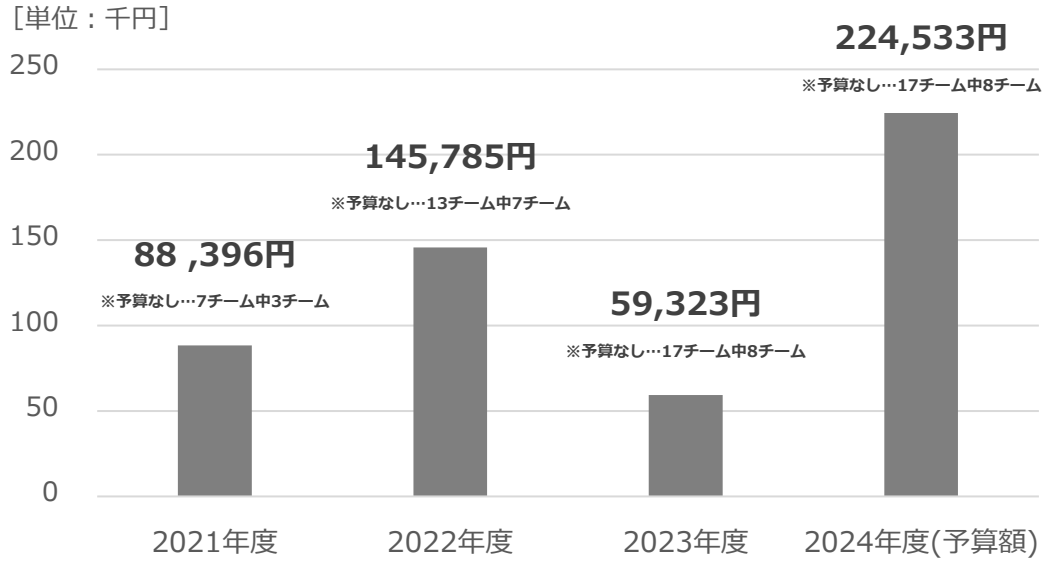
約半数のチーム（9 チーム/17 チーム）において「**首長など影響力のある人物からのコミット**」による期待を受けていることが分かった。また、そのほとんどにおいて首長が組織全体にメッセージを表明している場合が多かった。
一方、「**自治体計画等へのナッジの明記**」や「**事務分掌規程等へのナッジの明記**」は少数であった。



［単位：チーム数］

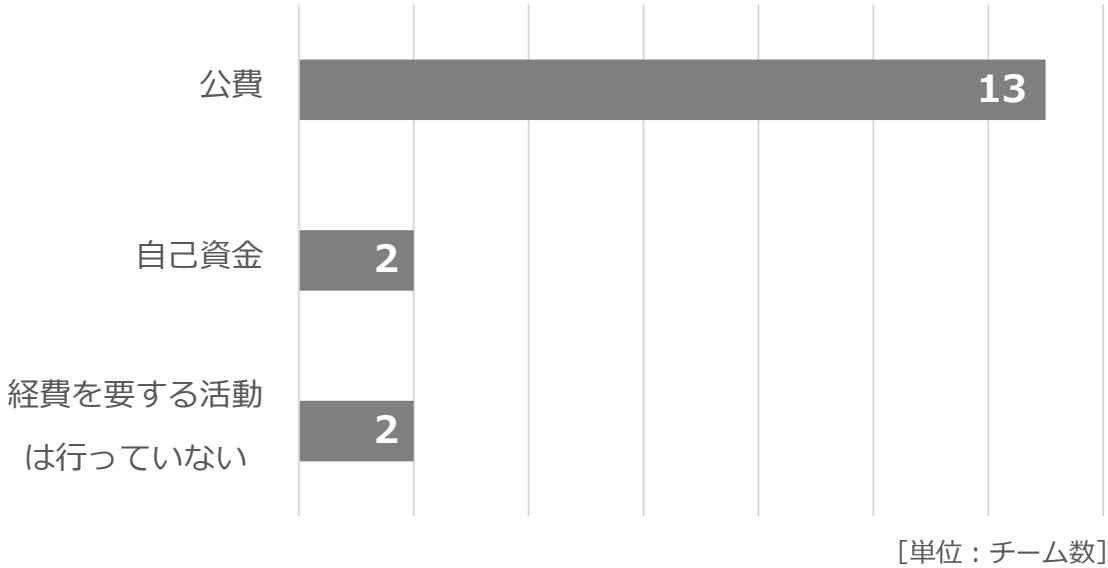
Q４．活動予算規模（n＝17）

2021 年度から 2024 年度までの４年間における **1 チーム当たりの平均活動予算額**を示した（2024 年度のみ予算額、活動予算 0 円のチームはグラフから除外）。
活動予算規模は概ね増加傾向にある。
一方、2024 年度においても 17 チーム中 8 チームが**活動予算なしで活動**している状況が確認された。



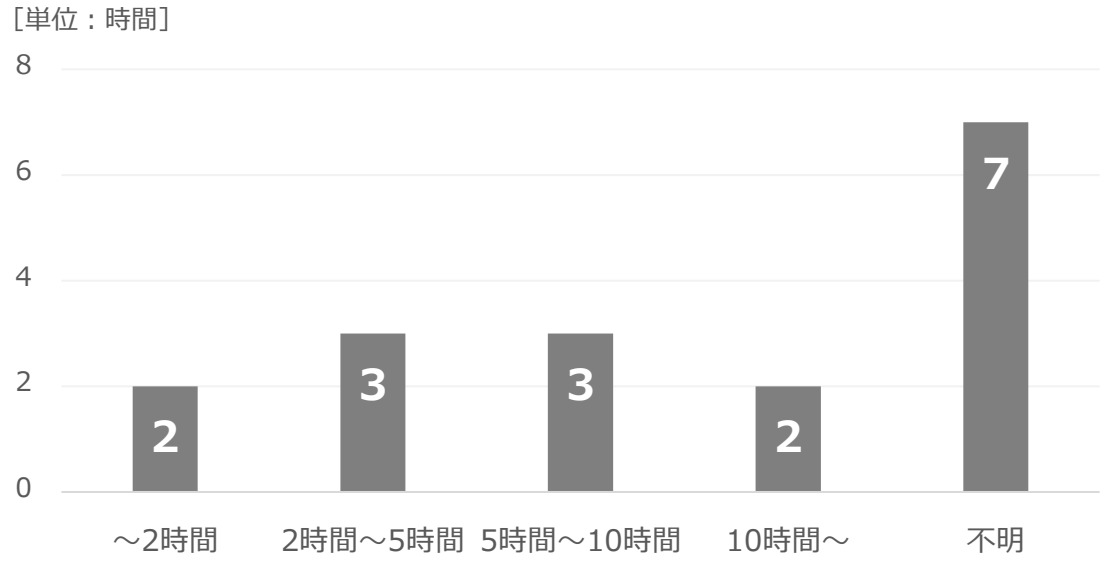
Q５．活動予算の拠出元（n＝17）

大多数のチームが「**公費**」から活動予算を拠出している一方、メンバーの「**自己資金**」を投入して活動しているチームの存在も確認できた。



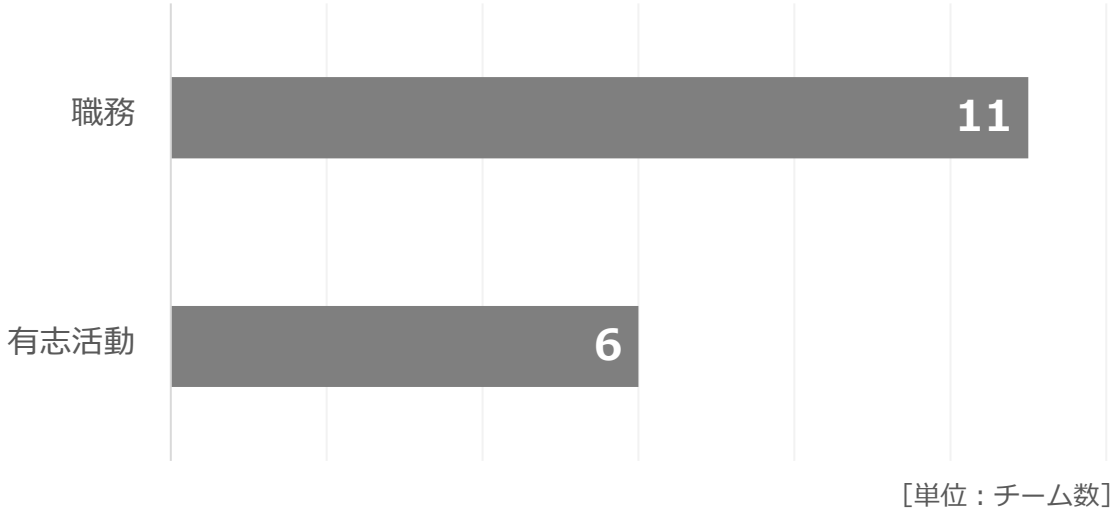
Q６．１か月あたりの平均活動時間（n＝17）

メンバーの「**1 か月あたりの平均活動時間**」として、「**2～10 時間**」の範囲内で活動しているチーム数が多かった（6 チーム/10 チーム）。



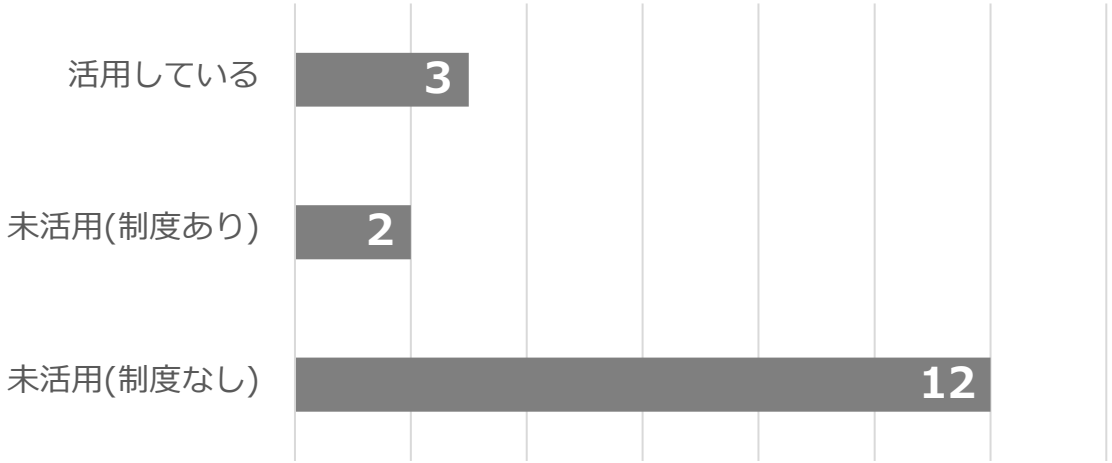
Q７．活動が職務かどうか（n＝17）

ナッジの活動について、約３分の２のチームは「**職務**」として取り組めているものの、約３分の１のチームは「**有志活動**」として職務外に活動を行っている。



Q８.「庁内副業制度」等の活用状況（n＝17）

ナッジ活動時の「**『庁内副業制度』等の活用状況**」について、「**活用している**」チームは３団体であった。
同様の制度が存在しないことによって、制度を活用できない自治体が多い状況であった。



［単位：チーム数］

参考：質問紙データ

調査名：　自治体ナッジ・ユニットに関するアンケート

基本情報

調査内容

【調査趣旨】
近年、自治体ナッジ・ユニットの設立数が増加し、ナッジの政策活用が盛んに行われている中、自治体ナッジ・ユニットの活動形態も多様化しているものと推察されます。
本アンケートでは、自治体ナッジ・ユニットの組織形態や活動内容を明らかにするために実施するものです。
公私ともにご多忙の折、誠に恐縮ですが調査趣旨をご理解いただき、アンケート調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

【調査対象】
自治体ナッジ・ユニット　※令和6年4月1日時点に現存しているユニットに限る

【回答期限】
5月17日（金）

【回答先・お問い合わせ】
福井市 総務部 市長公室 総合政策課　担当：梅田（福井市ナッジ・ユニット所属）
E-mail：y.umeda-fk@ma.city.fukui.lg.jp
TEL：0776-20-5283

※アンケート調査にご協力いただきました方々には、集計が完了いたしましたら結果の共有を行わせていただきます。
※なお、調査結果は「地方行政実務学会第5回全国大会（令和6年8月開催）」にて報告を予定しています。

回答者情報

団体

所属・役職

氏名

電話番号

メールアドレス

基本情報

Q1　自治体ナッジ・ユニットの名称

Q2　ナッジ・ユニットの設立時期
※年月までのご記入でも可

Q3　ユニットメンバーの人数
※令和6年4月1日時点

Q4　活動内容として、以下から当てはまるものをすべてお選びください。
（〇を●に変更してください）

〇 情報発信（ナッジ通信等）　※ナッジに関心を持ってもらうために行う広報活動を指す
〇 職員研修
〇 相談支援
〇 効果検証支援
〇 研究会、勉強会　→　実施内容（記入欄:
〇 自主ナッジ企画　※ナッジ・ユニット自らが企画したナッジを実行するもの
〇 その他　（記入欄:

Q5　ナッジ・ユニット結成の経緯をお聞かせください。

Q6　ナッジ・ユニットの活動において、不自由を感じたことがありましたらお聞かせくださ

組織からの認知の程度についてお尋ねします

Q7 組織内においてナッジ・ユニットが認知されていると感じる点について、以下から当てはまるものをすべてお選びください。

（〇を●に変更してください）

〇 首長など影響力のある人物からのコミット →Q8へ
〇 自治体計画等へのナッジの明記 →Q9へ
〇 事務分掌規程等へのナッジの明記 →Q10へ
〇 その他 （記入欄:

Q8 Q4で「首長など～」を選ばれた方にお尋ねします。それはどなたからのコミットです

Q9 Q4で「自治体計画～」を選ばれた方にお尋ねします。計画等の名称をご記入くださ

計画等の名称	
ホームページURL	

Q10 Q4で③事務分掌規程～」を選ばれた方にお尋ねします。それが記載されている「所属名」及び「記載のされ方」をご記入ください。

所属名	
記載のされ方	

活動予算についてお尋ねします

Q11 活動予算の額についてご回答ください。（令和3年度から5年度は決算額）

（単位:円）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計				

※行が不足する場合は適宜行追加してください

Q12 Q11の活動予算の拠出先はどこですか。

（〇を●に変更してください）

〇 公費
〇 自己資金（所属メンバーによる拠出等） →Q13へ
〇 その他 （記入欄:

Q13 Q12で「自己資金」を選ばれた方にお尋ねします。公費を拠出できない理由は何です

ナッジの活動についてお尋ねします

Q14　メンバーの1か月あたりの平均活動時間はどれくらいですか？

全メンバー平均	

※以下、メンバー間の活動時間に2倍以上の開きがある場合はご記入ください。

コアメンバー平均	
その他メンバー平均	

Q15　ナッジの活動は職務ですか、有志活動ですか？

（○を●に変更してください）

○ 職務
○ 有志活動
○ その他 （記入欄:

Q16　ナッジの活動にあたり、「庁内副業制度」等を活用していますか？

※庁内副業制度とは
職員が勤務時間の一部を担当業務外に充てることができる制度の総称

（○を●に変更してください）

○ 活用している　→Q17へ
○ 制度は存在するが活用していない　→Q17、Q18へ
○ 制度が存在せず活用できない

Q17　Q16で「活用している」又は「制度は存在するが活用していない」を選ばれた方にお尋ねします。当該制度の概要をお教えください。

制度の名称	
制度の概要	

Q18　Q16で「制度は存在するが活用していない」を選ばれた方にお尋ねします。
活用していない理由は何ですか？

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。